

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組などについての情報をお届けします。

- 1：【高校情報の提供について】
- 2：【高校の特色ある取組】
- 3：【学校紹介スペシャル】
- 4：【コラム】

については各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報は、以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

「見つけよう、自分の目指す学び！」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2010tobira/tobira.html>

---

## ■ もくじ ■

---

### 1：【高校情報の提供について】

地区別合同説明会を開催しました  
オープンキャンパスの開催

### 2：【高校の特色ある取組】

#### (1) 白石高等学校

＜ホームページに多くのアクセス、ブログも立ち上げて日々、情報を更新中＞

#### (2) 仙台第三高等学校

＜スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校としての取組＞

#### (3) 気仙沼向洋高等学校

＜新時代の産業を担う若者よ、集まれ！＞

#### (4) 白石工業高等学校

＜みやぎ県民大学「学校開放講座」＞

#### (5) 古川高等学校

＜5／28（金）第23回ブナの森遠足＞

### 3：【学校紹介スペシャル】

#### (1) 貞山高等学校

＜魅力あふれる貞山高校＞

#### (2) 泉松陵高等学校

＜進路希望100%達成を目指して＞

#### (3) 仙台二華高等学校

＜百有余年の実績をもとに、仙台二華の新しい学びがはじまりました＞

- (4) 石巻好文館高等学校  
＜進学型単位制高校に変わり，ますます一人ひとりを大切にする指導＞
- (5) 宮城第一高等学校  
＜宮城一高であなたの夢をつかみませんか＞
- (6) 宮城広瀬高等学校  
＜自身を磨く，自身を学ぶ＞
- (7) 気仙沼高等学校  
＜知的好奇心を育むために＞
- (8) 仙台三桜高等学校  
＜男女共学化一年目が始まりました・・・男子生徒の大いなる活躍＞

#### 4：【コラム】

- (1) 石巻高等学校  
＜文武両道の実践～合格体験記から～＞
- (2) 志津川高等学校  
＜尾形初代校長先生と尾形杯に感謝して＞

#### 5：【編集後記】

---

### ■ 1 全県一学区にともなう高校情報の提供について ■

---

#### 地区別合同説明会が行われました

各地区内のすべての公立高校が参加して，地区別合同説明会が開催されました。今年には県内7地区に分かれて，参加校が学校の教育内容や特色ある取組について15分程度説明し，その後5分程度の質疑の時間を設ける形で行われました。会場によっては，学校ごとの個別質問コーナーも設置されていました。また，平成25年春から始まる公立高校の新しい入試制度についての説明も行われました。

夏休み前ということもあり，全ての会場において，昨年度の入場者数を大幅に上回る方々にご来場いただきました。学校によりましては，説明会場に入りきらないほどの参加をいただいたところもありました。

ご来場いただいた皆様にご場をお借りして感謝申し上げますとともに，当日の混雑で御迷惑をおかけしましたことを，お詫び申し上げます。

#### オープンキャンパス（学校説明会）の開催

この夏休みを中心に，各高校においてオープンキャンパスが開催されます。教育内容のくわしい説明や施設見学，さらには模擬授業や部活動体験など，各学校が工夫を凝らしたプログラムを準備しています。

夏休みを利用して，多くの学校のオープンキャンパスに，ぜひご参加ください。

参加にあたっては，ほとんどの学校で事前の申込が必要です。

ハガキ，FAX，メールなどで各高校が指定した申込方法にしたがって申し込んでください。高校教育課のホームページから，パソコンで申し込むこともできます。

＜くわしくはこちら＞

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2010opc/opc001.html>



に付けることができます。明るくさわやかな挨拶とともに一日が始まり、朝読書の静寂な時を経て、ゆったりと授業に入ります。放課後は潮風の中で思う存分、部活動に打ち込みます。

地域からの期待を受け、これまで多くの卒業生がフレッシュな人材として社会に巣立っていきました。さらに近年は、より深く学びたいという思いから大学や短大に進む生徒も増えています。変化する時代に適応しつつ、一人ひとりの生徒を大切にすため、百年を超える歴史と伝統を受け継ぎながら、さらに魅力ある学校をめざして全校で努力しています。

学力と教養を身に付けたいと思っているみなさん、部活動に打ち込んでみようと思っているみなさん、多くの資格を取得して将来に備えようと思っているみなさん、友だちを大事にして輝く高校生活を送りたいと思っているみなさん、そしてすべての中学生のみなさん、本校教職員は、そんなみなさんを熱い心で歓迎し応援します。

→<くわしくはこちら> <http://www.kkouyo-h.myswan.ne.jp/>

#### □ 白石工業高等学校

| <みやぎ県民大学「学校開放講座」>

毎年本校の各学科が、もちまわりで学校開放講座を担当しています。本年度は工業化学科が担当で、夏休みの日曜日3日間に実施いたします。

(本年度の募集は終了いたしました)

白石工業高等学校の工業化学科と工業化学部が協力をして、理科の楽しさを知ってもらおうきっかけづくりに「色の変化」等をテーマとした学校開放講座を実施します。色の変化など目に見える変化には、目に見えない小さな原子の世界が関係しています。その小さな原子の世界について実験をしながら化学の世界を体験していただきたいと思っています。理科の楽しさは真実を知る楽しさであり、実際の体験ができる楽しさだと思えます。実際の体験ができる実験には、机に向かう学習では得られない楽しさがあります。しかし、化学実験の指導には安全面に配慮できる十分な知識と経験が必要であり、生徒が体験する機会が十分にあるとは思えません。満足するまで実験を行うには学校の時間が少なすぎるのです。しかし、不足する時間を補い、授業の内容をより発展させようと放課後等時間をつくり積極的に実験を行う生徒もいます。知識だけではなく、技術者として実験に取り組める本校の生徒達です。

「好きこそものの上手なれ」興味を持ち、化学を一生の技として学ぶ生徒が一人でも多く入学してくることを願っています。もし興味を持たれたならば、学校開放講座以外にも出前授業にて化学実験を実施しています。白石工業高校までご相談ください。

#### □ 古川高等学校

| <5/28(金)第23回ブナの森遠足>

「船形おろしを実際に肌で感じ、ふるさとの山河の素晴らしさについて友と語る」  
「船形山のブナ、自然と環境保全等について理解を深める」ことを目的とした1学年の行事です。1980年代全国の山々でブナが伐採されるなか、校歌のなかに謳われている船形山に登ろうと生徒会が計画し、1988年に始まりました。毎年、船形連峰蛇ヶ岳の残雪が蛇の形となる新緑の美しい5月下旬に実施します。今年で23回を数えました。

当日朝は風が強く気温も低めでしたが晴れ間の見えるまずまずの天気でした。ブナ林の登山道は新緑の回廊となり、ところどころ差し込む陽射しもあって森林浴を満喫しました。三光の宮では汗ばんだ肌に薫風を受けながら太平洋を望むこともできました。自然の厳しさを感じる遠足となる年が多い中、自然の素晴らしさを感じることができた遠足でした。山岳部OBの船形山のブナを守る会の人たちの案内もあり、米どころ大崎平野を栄養に富んだ豊かな水で潤すブナの森の大切さを教えていただきました。

生徒会の「自主自律」の精神を引き継ぎ、これからも大切にしたい行事です。

古高だより 2号の中に関連記事と写真がありますので、ホームページもご覧ください。

→くくわしくはこちら> <http://furuko.sakura.ne.jp>

---

### ■ 3 学校紹介スペシャル ■

---

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

#### □ 貞山高等学校

| <魅力あふれる貞山高校！>

---

《スタイル選択。3年で卒業も自分しだい》

【昼間部】10：45～14：50（4時間）

自分流のスタイルを求める生徒たちが、明るい雰囲気の中で、主体的に授業に取り組みます。

【夜間部】17：35～20：40（4時間）

働きながら学ぶ生徒たちが、少人数の落ち着いた雰囲気の中で、和やかに学校生活を送ります。

【併修】15：20～17：00（2時間）

3年で卒業を目指す生徒たちが中心になって選択し、昼夜合同で、意欲的に学びます。

《宮城県初！の魅力がいっぱい》

【魅力①】学年がない単位制！だから選択科目がいっぱい

学年がないので、先輩たちと一緒に自分の必要な科目を選択できます。

【魅力②】やる気を多様な単位認定制度でサポート！

前期科目の9月認定、そして高校卒業程度認定試験合格科目・資格・ボランティアも単位にできます。

【魅力③】単位制だから3年で卒業！ガンバリがいがあります。

たくさん授業に合格すると3年、あるいは3.5年で卒業できます。

《しっかりサポート》

【信頼のホームルーム担任制】きめ細かく生徒の学習活動を支援します。

【安心の履修ガイダンス】生徒一人ひとりに合った授業選択を支援します

【充実の進路ガイダンス】課外学習・面接指導・外部講師による学習会等で支援します。

【親身なカウンセリング】専任カウンセラーが生徒と保護者の悩みに対応します。

《多くの部が全国大会出場》

【部活動】昼間部（平日）9：15～10：30（水曜日）15：20～17：00、夜間部20：40～21：30と活動時間が保障されており、1年次は全員登録、2年次以上は自由登録です。昼夜合同チームで多くの運動部が全

国定時制通信制大会に出場しています。文化部では放送部が、他の全日制高校と同じ土俵で活動し、全国放送コンテストに出場しています。

→くわしくはこちら> <http://www.teizan.myswan.ne.jp/>

□ 泉松陵高等学校  
| <希望進路100%達成を目指して>

泉松陵高校は進学校としての学力保証と生徒の希望進路100%達成を目指して、基本的に学習重視の取組に力を入れています。主なものをいくつか紹介しましょう。

○ 『進路別クラス編成』

「国立文系」、「私立文系」、「国立理系」、「私立理系」、「看護医療系」の5つのコース選択に基づいてクラス編成を行い、進路希望達成を目指します。

○ 『65分、5時間授業』

本校では1時間の授業を65分にするによって、授業の内容をしっかりと理解し、学習内容の確実な定着を目指します。

○ 『朝学習』

毎朝、確認テストを中心とした朝学習を行い、確実な力を付けます。

○ 『週末課題』

週末の家庭学習をより効果的にできるように支援します。

○ 『PTテスト』

2週間に一度、国数英を中心にした‘Power-up Time Test’を行います。朝学習と週末課題の内容をきちんと理解して、身に付いているかチェックし、学力のPower-upを図ります。

○ 『学習時間チェックシート』

『学習の記録』を付け、継続的な学習の習慣づけをします。

○ 『学習カウンセリング』

学力向上や進路希望達成のために、一人ひとりのニーズに応じたきめの細かい学習指導や学習相談などを実施し、しっかりサポートします。

以上、本校の主な特色について述べましたが、このほかにも特色あるカリキュラムの編成や、系統的な進学ガイダンスを実施して、大学・短大進学を目指す進学指導から生活環境の工夫にいたるまで、徹底した情報提供と指導を展開しています。

また、泉松陵高校は、開校以来「文武両道」と「自主・自立」の精神が貫かれ、部活動と共に生徒会活動にも非常に力を入れてきました。

将来の目標を明確に持ち“自己実現の意欲”のある人にとって、充実感と達成感を味わえる学校です。希望を持って意欲的にチャレンジしたい中学生の皆さんの入学を待っています。

→くわしくはこちら> <http://www.shoryo.myswan.ne.jp/>

□ 仙台二華高等学校  
| <百有余年の実績をもとに、仙台二華の新しい学びが始まりました。>

仙台二華では、特色ある教育活動として、地球環境をテーマにした、教科科目の学習活動と連動する独自の授業を行っています。社会科学分野の「IS（インターナショナルスタディ）」、自然科学分野の「SR（サイエンティフィックリサーチ）」、将

来の生き方や進路について考える「CS（キャリアスタディ）」の3領域の学習を通して自ら学び、考え、主張し、行動できる力を育成します。また、仙台二華はユネスコ・スクールにも指定されており、国際的な視野を広げ、世界で活躍できる人材を育成するために、海外研修旅行や海外姉妹校交流（予定）を行うなど、国際理解教育を進めています。

仙台二華高等学校の教育活動を説明し、学校の雰囲気や体験できる「オープンスクール」を中学3年生を対象として開催します。申し込みは仙台二華のホームページをご覧ください。

日時：平成22年7月31日（土）、午前9時30分から午前11時50分まで  
（受付は午前8時45分から）

場所：宮城県仙台二華高等学校（仙台市若林区連坊1丁目4番1号 地下鉄五橋駅から徒歩7分 JR仙台駅より徒歩15分）

内容：教育活動の全体説明と授業・部活動などへの体験参加

→<くわしくはこちら> <http://www.nika.myswan.ne.jp/>

#### □ 石巻好文館高等学校

| <進学型単位制高校に変わり、ますます一人ひとりを大切にする指導>

石巻好文館高校は、平成22年度入学生から全日制課程普通科としては、石巻地区で初めての「進学型単位制」を導入しました。

初めの2年間は、あらゆる進路に対応できるよう必修科目を中心に学習し、幅広い科目を勉強します。特に、大学入試においてキーポイントとなり、つまずくと取り戻すことが大変な「英語」と「数学」については少人数による授業を展開し、一人ひとりを丁寧にきめ細かく指導します。3年目は、多様な希望に沿うように「進学向けの多数の選択科目」を設定し、進路の実現に向けた学習に集中できるカリキュラムとなります。

さらに、マークシートを用いたセンター試験型演習や、放課後の課外講習など国公立大学・私立大学・看護学校などに進学するために様々な取り組みが行われています。また、推薦入試やAO入試のための小論文対策は、総合学習の時間における指導の他に、希望に合わせて個別添削指導も行っています。

このように、個々の進路に応じて様々な取り組みがあり、進路達成に向けて全面的にバックアップします。生徒が本気になれば、先生も本気になって応えてくれる。それが好文館高校の良いところです。

→<くわしくはこちら> <http://www.koubunkan.myswan.ne.jp/>

#### □ 宮城第一高等学校（旧第一女子高等学校）

| <宮城一高であなたの夢をつかみませんか>

宮城第一高校は、今年で1年次から3年次まで共学になり、名実ともに新しい体制が整いました。114年目という伝統を受け継いで、県内トップクラスの進学校という学校像に変化はなく、さらに魅力ある学校をめざして取り組んでいます。

#### ★進学重視型の単位制高校

単位制高校の良い点は、生徒の興味関心、進路希望等に応じた科目を選択し、自分に最適の時間割をつくれることです。また、少人数授業や習熟度別授業が多くなり、個々に応じたきめ細やかでより適性に応じた授業が受けられます。特に、本校ではほ

とんどの生徒が大学への進学を志望しているのです、様々な大学入試のスタイルに対応できるように、量的にも十分な学習時間を確保しながら、学習レベルに応じて効果的な授業を選べるように時間割が組まれています。さらに、進路に対応した本校独自の学校設定科目が20科目あり、学習の個性化、個別化を保證しています。その中には、東北大学の講義聴講も含まれ、単位認定しています。

授業の設定は単位制高校を基本としていますが、学校生活の基本をホームルームにおいており、クラス活動や学校行事への取り組みをとおして、のぞましい人間関係づくりにも意欲的に取り組んでいます。高い意志をもつ生徒が多く集まり、集団活動で切磋琢磨することにより、一人ひとりがさらに大きく進化し、人間的に成長します。

### ★普通科と理数科

本校には総合的な学力の伸長をめざす普通科と、理科、数学に興味・関心を持ち、基本的な概念、原理・法則などについて系統的な理解を深め、科学的考察力や表現力を持つ人材育成をめざす理数科があります。普通科では各教科をバランスよく学習しながら、2年次3年次には、文系理系の進路に応じて選択科目が増えていきます。理数科は数学、理科の時間数が多く、内容も発展的な授業が展開されます。

#### 【理数科の特色 ●●● 集まれ 未来の科学者たち！ ●●●】

- ・物理・化学・生物・地学のうち3科目以上学習し、総合的な科学リテラシーを習得します。医歯薬系・理工系学部などへ進学した後につながる確かな基礎力と科学的素養を身につけます。
- ・2年次には課題研究に取り組みます。グループごとに研究テーマを決めて、1年かけて科学の探究方法を学びます。仮説・実験・考察・論文作成等を経て、最終的にプレゼンテーションの基本まで習得します。また、同じ理数科がある高校と一緒に研究発表会がおこなわれます。レベルの高い研究報告に、同じ志望をもつ高校生どうし、互いに研究へのモチベーションを高めあいます。
- ・最先端の科学に関連した各種施設を見学します。また、学校では通常の授業のほかに、大学の先生を招いて「出前授業」や「講演会」を実施し、学問としての魅力や最先端の研究を紹介してもらいます。さまざまな取り組みの中で、豊かな自然観と科学的思考力・表現力を培うことができます。

### ★伝統と校風

自主自律の校風が受け継がれ、生徒は宮一高生としての誇りと自信をもって生活しています。細かな校則がなく比較的自由度が高い学校生活ですが、互いを尊重しながら、秩序ある落ち着いた雰囲気の中、学習に集中できる環境ができあがっています。

一方、個性的・創造的な学校行事のときは、ここぞとばかりに集中して取り組み、学校全体にエネルギーがあふれます。多くの卒業生が、熱い青春時代を過ごして自己実現してきた高校生活を、最高の思い出と語ってくれます。施設にやや不足があるものの、自由に、のびのびと、自分の目標に向かって懸命に努力する生徒たちは、これからも宮城一高の最大の魅力です。

### ★平成22年度第2回学校説明会（中学2・3年生対象）

日時 平成22年10月30日（土）

会場 宮城第一高校

※詳細は後日、ホームページに掲載します。

→<くわしくはこちら> <http://www.ichijo.myswan.ne.jp/>



□ 宮城広瀬高等学校  
| <自身を磨く・地震を学ぶ>

本校では、毎年ユニークな授業や行事を行っていますが、今回は特に地域の皆さんに耳寄りな情報をご提供いたします。

●情報その1 みやぎ県民大学講座開催のお知らせ

今年はなんと3つの講座を同時開催いたします。1つめは、毎年好評な「篆刻（てんこく）を楽しもう」。自分だけのすてきなアイテムとしての刻印をつくることができます。2つめは、「水彩画『花を描く』」。絵を描くことの楽しさを基本から丁寧に教えてくれます。3つめは「発見！身のまわりを科学する」。食品成分の分析、鉱物の観察、そしてLEDを使ったミニインテリアの工作まで、楽しみながら科学を学習できます。いずれも開催日は8月19日、20日、21日の3日間。参加費は無料です。今年の講座は、地域の方々はもちろん、中学生の皆さんも参加できますので、是非この機会に本校に遊びに来てみませんか。また、8月21日（土）は学校説明会（オープンキャンパス）も行っています。説明会に参加して、帰りに講座のようすを見学してみてください。

●情報その2 広高祭で地震を学ぶ

今年の文化祭は、9月11日（土）に一般公開が行われます。その中で、東北大学地震・噴火予知研究観測センター長の海野徳仁教授に「地震とは何か？～想定される宮城県沖地震～」というテーマでお話をさせていただきます。もちろん参加費は無料です。30年以内に99%の確率で起こるといわれている宮城県沖地震について専門的なことを分かりやすく教えてくれます。

→<くわしくはこちら> <http://hirose-h.myswan.ne.jp/>

□ 気仙沼高等学校  
| <知的好奇心を育むために>

本校では、地域を知り、科学への好奇心を育むために次のような取り組みをおこなっています。

1. 地域巡検

6月後半に地域巡検（希望者参加）をおこないました。バスで地域を回り、海岸の形・地層を観察し、日頃の学習（生物、地学、地理）を補足・強化します。教育目標にある「地域の自然や文化を尊ぶ」ための企画です。

2. サイエンス・パートナーシップ・プログラム（SPP）に採択されました。

サイエンス・パートナーシップ・プログラムは、学校と大学・科学館などの連携によって、生徒の科学技術・理科・数学に関する興味・関心と知的探求心を育てることを目的とした、研究者の先生方を講師としておこなわれる、観察・実験・自習などの体験的・問題解決的な学習活動です。本校も応募して採択されました。採択された講座は「進化にもとづく五界説の分類を遺伝子から考える」というもので、本校自然科学部や生物学に興味を持つ生徒が中心となって取り組む予定です。

□ 仙台三桜高等学校（旧 宮城県第三女子高等学校）  
| <男女共学化一年目が始まりました・・・男子生徒の大いなる活躍>

本校は大正13年2月に開校した長い伝統のある高等学校です。伝統的に部活動、

生徒会活動あるいはボランティア活動が盛んで、運動部・文化部ともに県内はもとより、全国大会での活躍も顕著なものがあります。

今年度から男女共学となり、校名も“仙台三桜高等学校”として第三女子高校の良き伝統を受け継ぎながら、新しい歴史を作るべく出発しました。今年入学した33名の男子生徒の部活動については、運動部が20名、文化部が13名となっています。それぞれ、人数が少ないながら意欲的に部活動に取り組んでいます。高校総体では、剣道部の男子が3人ではありますが正式にチームとして参加し、大いに健闘しました。また、個人競技でも多くの種目で大会に参加しています。今後の活躍が期待されるところです。

また、学校行事においても、春季体育大会ではハンディのある中男子の力を十分に発揮し、その存在感を示しました。現在は合唱コンクールに向けてクラス一丸となって練習に取り組んでいます。その光景から、男子生徒も本校の伝統をよく理解し、前向きに取り組んでいることを実感しています。

→くくわしくはこちら> <http://sen3o-h.myswan.ne.jp>

---

### ■ 3 コラム ■

---

高等学校の校長先生、一般の先生、生徒代表などが、「我が校」に対する想い、最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□ 石巻高等学校 教諭 小野寺智弘  
| <文武両道の実践“合格体験記から”>

---

石巻高校では「文武両道」を実践しております。今回は近年の国立大学合格者の合格体験記の抜粋により、石巻高校で実践している「文武両道」が生徒の目線からはどのように受け入れられているかを紹介致します。

部の活動は私に二つのものを与えてくれました。（合格できたのはそれのおかげに他ならないと思っています。）一つはここ一番というときの根性です。高いレベルで文武両道が続けられたので、部活動が勉強に、勉強が部活動によい影響を与えあうことができたと思います。顧問の先生に「勉強をしっかりとやっていれば、集中力がついて必ず部活動にも帰ってくる。」ということをよく言われていましたが、それは本当にそうでした。

そしてもう一つは助け合える仲間です。私は放課後にはほとんど自習室で勉強していたのですが、同じ部の仲間の多くも自習室で勉強していました。（合格体験記抜粋）

石巻高校では、学習・部活・仲間との時間と生徒が主体的に文武両道を実践していく環境が整っております。生徒が合格体験記の中で述べたように「高いレベルでの文武両道」を今後も実践していくものであります。

□ 志津川高等学校 校長 加藤 栄之  
| < 尾形初代校長先生と尾形杯に感謝して >  
| （『旭朋』（第62号，H22.3.1発行）より抜粋）

---

本校では、クラス対抗行事として、五月の合唱コンクール、七月の体育祭（球技大

会，運動会）八月の文化祭（仮装コンクール，クラス展示），十月のマラソン大会があり，文化的行事と体育的行事とで互いに競い合っています。そして，年間を通して総合で第一位のクラスに，尾形杯が授与されてきました。学校行事で，皆さんの大きな目標になっている尾形杯の所以（ゆえん）を辿（たど）りたいと思います。

尾形杯は，太平洋戦争後の混乱と虚脱の風潮下において，志津川高校の初代校長として着任し，寝食を忘れて新制高校への昇格や県立移管などの学校経営に精魂を傾け，現在の本校の礎のほとんどを築かれて，在任中（在任期間・昭和21年1月31日～25年3月3日）に亡くなられた尾形文雄初代校長先生の名に因（ちな）んでいます。

平成2年（1990年）に，故尾形校長先生のご家族が，たまたま志津川高校に立ち寄ったことがきっかけになり，「40年余りを経て発展した志津川高校のために，なにか形のあるものを贈りたい」との申し出がありました。そこで，世界的に活躍する現代彫刻家西雅秋氏に，世界に一つだけの青年の心に永く，深く残る造形作品を依頼し，それに学ぶ者一人ひとりがその姿を持ち，のびやかに育つことへの想いを込めてブロンズ製，高さ50cmのモニュメントが完成しました。

そして，11月5日の贈呈式で，「太平洋の波がぶつかり光り輝く中で青春時代を過ごした諸君が，何かにぶつかったとき，このシンボルを見つめて欲しい。その中で，作り手とぶつかった皆さん一人ひとりの中で，このシンボルはいろいろなものになるはず。」と志高生への想いを託されました。その後，志高生の誇り，個々の生徒が学び取った喜びのシンボル（年間を通しての最高賞である尾形杯）として，代々受け継がれています。

今年の合唱コンクールでは，息のあったハーモニー，情感豊かな歌声によるハイレベルでの競い合いがあり，これまでにないほどの感動を見る者，聞く者に与えました。また，保護者の皆様からも，賞賛の言葉をいただきました。その後の行事においても各クラスは協力と団結の合い言葉のもと，自分の特技を生かし，クラスメイトの長所を尊重して，それぞれの立場で全力を尽くしました。その活躍は，まさに尾形杯の想い・願いに通じるものがありました。このような体験及び自分のためそしてみんなのためにとの共通認識の下で一致協力できる姿勢は，これからの社会生活で大いに役立つはずです。皆さんが人生に必要な貴重な体験を，多感な青春時代に積めるのは，とても幸せなことなのです。これからもさまざまな場面で，尾形杯に賭けた意気込みと願いを思い起こし，皆さんの精神的な支えにしてください。

→くわしくはこちら> <http://www.sizugawa-hs.myswan.ne.jp/>

---

#### ■ 4 編集後記 ■

---

今年度に入って2号目の「高校教育課 情報メール」第17号をお届けします。今回は，夏休み中に実施予定のオープンキャンパス（学校説明会）の案内とあわせて，県内の高等学校の特色ある取組やコラムなど多くの県立高校の情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

今後も県立高校に関するさまざまな情報をお知らせしていますので，「高校教育課情報メール」をよろしくお願ひします！

高校教育課 情報メール（メールマガジン）

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696